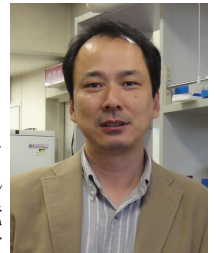


「グローバル社会に対応する女性研究者支援」プロジェクト  
<http://www.erp.sophia.ac.jp/Projects/wrsupport/>

# NEWSLETTER

## 女性研究者支援について思うこと

工学部教授 林 謙介



私の家内は女性研究者で、結婚後も私と同じ分野で研究者の道を進んできた。ただ、家内と私と同じ条件で研究者キャリアを戦ってきたとは残念ながらとも言えない。本人が不満を感じているかどうかは別として、今の環境がフェアなシステムでないことは確かである。その責任の大半は、家事育児に非協力的だった私にある。しかし私だって、他の男性と同じ土俵で勝負をしたかったのである。

女性と男性が同じ土俵で勝負できるようにするために、女性をどのように支援すればよいのか—先日、ある人と話していたところ、「それは多様性の問題なのです」と言われた。大事な視点だと思う。

平たんな土俵で、勝負の物差しが一本しかないところでは、いつも同じようなスタイルの研究者しか生き残れない。しかし、山あり谷あり池もあるような土俵で、それぞれの能力に合わせた多様な物差しがあれば、そこかしこでいろいろな能力を持った研究者が棲みつくことができるだろう。多

様な民族、多様な宗教、多様なライフスタイルを持った研究者がそれぞれの能力を発揮できる環境を整えてこそ、本当のグローバルな大学であるともいえる。

女性のライフスタイルは多様である。本プロジェクトの昨年度国際シンポジウムで来日したランキン先生は、女性の多様な人生を迷路(ラビリンス)と表現された(行き止まりが多いという意味も含まれている)。女性に比して男性のライフスタイルはみな似たりよったりだ。男性だらけの工学部は、生物多様性の観点からみると不自然、不健康なほどに均一な集団だと言えるかもしれない。多様性を許容する環境を整えるため、まずは、われわれ男性が多様なライフスタイルを持つことから始めてはどうだろうか。

### 目次：

- 女性研究者支援について思うこと P1
- プチSocial Cafe “男子学生から見た女性研究者支援”を開催 P1
- 学生メンター制度スタート！！ P2
- 第4回女子学生キャリアアップ支援コロキウムを開催 P2
- 女性研究者支援システム改革プログラム事業合同シンポジウム および第8回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムに参加 P2
- 第5回女子学生キャリアアップ支援コロキウム&育児支援セミナー開催のお知らせ P2

## プチSocial Cafe “男子学生から見た女性研究者支援”を開催

～子育ては誰がする？～

10月22日(金)に、物質生命理工学科の藤田正博先生を囲んで理系男子学生11名、女子学生4名によるプチSocial Cafeを開催しました。

現在、育児真っ只中の藤田先生から、「将来、結婚した時にどのように子育てに関わっていくのか」という話題を提供された男子学生は、戸惑いながらも自分の体験をもとに話し始めました。

パートナーが働き続けることに多数の男子学生が賛成でしたが、その反面「子供が生まれたら育児は女性中心の方が望ましい」という意見が多数を占めました。一見、今の男子学生はとても保守的に見えますが、育児休業を取得したいという意見や、状況によってはパートナーを支えるために「主夫」になってもよいという意見もありました。

今回は、「女性研究者支援事業」を通して、改めてパートナーとなる女性の人生について考えるきっかけになったようにも思われました。

11月19日(金)のお昼休みに第2回「男子学生から見た女性研究者支援」を開催します。今回は、男子学生からどのようなコメントを聞けるのか、楽しみです。



〔意見交換を行う藤田先生と学生達〕



## 学生メンター制度スタート！！

11月9日(火)に第1回学生メンター相談会を開催しました。メンター講習を受けた学生達5名がメンターとしてデビューしました。**研究室選択のこと、進学のこと、就職活動のこと等、ざっくばらんに聞ける貴重な機会**です。メンターは、理工学部4年生・大学院生女子で、カウンセリングセンターでの講習を受け、後輩のサポートを快く引き受けてくれた先輩方です。本活動にご興味のある**メンティー対象者(理工学部女子1～3年生)**を随時募集しています。ご興味のある方は女性研究者支援事務局までご連絡下さい。



メンター(先輩)  
(学部4年生・大学院生)

メンティー(下級生)  
(学部1～3年生)

## 第4回女子学生キャリアアップ支援コロキウムを開催

10月26日(火)に、第4回女子学生キャリアアップ支援コロキウムが行われ、11名(男子学生6名、女子学生5名)が参加しました。電気・電子工学科OGである山内 結子氏(NHK放送技術研究所)をお迎えし、「テレビ局での技術研究とワークライフバランス」と題し、これまで携わった研究内容のご紹介の他、テレビらしい演出に向けた研究や、より自然な映像合成に向けた研究について具体的な映像を使用しながらお話しされ、研究成果が番組に使用されている例もご紹介いただきました。また、ワークライフバランス面については、子育て期のタイムマネジメントのしかたなどもお話下さり、早くに就労し静かな環境で仕事をしたり論文を読んだりしたこと、家族の協力や職場のチームワークの大切さを実

感したことなどをざっくばらんにお話しされました。学生からは、「普段聞くことのできない、働く女性の実態を知ることができ、今後の自分を考える上で、とても参考になった。」「NHK技研での貴重なお話と私生活・ワークライフ面のお話を同時に具体的に聞けたことがとても実感がわきやすかった」等のコメントがありました。



〔講演を聴く学生達〕

## 女性研究者支援システム改革プログラム事業合同シンポジウム および 第8回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムに参加

10月5日(火)、6日(水)に京都大学にて行われた文部科学省科学技術振興調整費 女性研究者支援システム改革プログラム事業合同シンポジウム「未来を築く女性研究者の飛翔に向けて」に参加しました。本シンポジウムは、事業開始から5年経過し、事業終了機関のその後の取組み状況や問題点等の報告を通じて、今後の女性研究者支援のあり方を検討、議論する場を設けるとい趣旨で開催されました。

10月7日(木)には、理化学研究所和光研究所で行われた第8回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムに参加しました。「男女共同参画と社会」と題し、「男女共同参画のこれから」と男女共同参画の果たす役割について考えていくというものです。両イベントを通じて、男女共同参画を推進する学会や他大学の事業実施・運営体制やイベントの広報のしかたなどについて情報交換を行うことは、今後の事業推進をしていくうえでの参考となりました。

### EVENT

## ★第5回女子学生キャリアアップ支援コロキウム&育児支援セミナーのお知らせ★

下記の通り開催致します。今回は、東芝勤務の化学科OGの方をお迎えています。講演者の方が育休中ということもあり、子育てのリアルなお話など聞けるかも知れません。女子学生だけでなく、**子育て中の教職員の皆様にも参考となるお話**があると思いますので、ぜひご参加下さい。



開催日時:2010年11月26日(金) 13:30～15:00

開催場所:上智大学 2号館 510会議室

テーマ:働きながらの子育て ～3人の子供とともに～

講演者:宮野 ゆみこ氏(株式会社東芝 セミコンダクター社 半導体研究開発センター)



### 編集後記

本プロジェクトやニュースレターについて、ご意見やコメントなどありましたら、事務局までお寄せください。先日、応用化学領域の学生がコモンスペースで勉強会を行いました。今後も、勉強会を開催したい等、コモンスペース利用のニーズがありましたら、ぜひ事務局までお知らせ下さい。

### 問い合わせ・連絡先:

上智大学女性研究者支援事務局

102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

場所:10号館3階315室

電話:03-3238-4052

mail: wrsswg@sophia.ac.jp

http://www.erp.sophia.ac.jp/Projects/wrsupport

